

あいさつで心を見がく！

「あいさつ」については、いつもお伝えしているように日々、児童も職員も心がけて実践しているところです。児童会活動の年間計画には、月の生活目標が設定されています。

特に「あいさつ」は、人間形成においてとても大切なことですから、春の4月、秋の11月と、年間2回、『元気なあいさつをしよう』という目標で取り組んでいます。4月は児童会を中心に取り組んでくれた成果もあり、今朝も元気なあいさつが校長室まで届いてきました。

ところで話はさかのぼりますが、4月26日(月)の児童朝会で先生方があいさつについての寸劇をしようと体育館で練習していたところ、その様子を見ていた児童会が「その劇、ぼく達、私達にやらせてください」と、志願しました。子ども達は、すぐに劇の内容を覚え低学年にも分かるように上手にやってくれました。児童会の前向きな態度に感心しました。この様な、自発的で前向きな心が、道徳心の向上につながると思います。本当にすごい子どもたちです。

「高知の道徳」には、他人との関わりに関する「礼儀・あいさつ・動作・言葉づかい」など主に人間関係づくりについて書いてくれています。「道徳」のBの内容には『気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などに心がけて、明るく接する。』とあります。子ども達のこれからの人生において、人間関係や社会生活を円滑に過ごすことができるように「あいさつ力」を身につけさせたいと思います。保護者の皆様もよろしくお願ひします。

1 Ⅱ 他人とのかかわり

**時と場に応じた言葉づかいや態度**

人は、**「礼儀」という形を大切にすることで、心を通わせ合う。**

礼儀は、**真心の表れだ。**

あなたは、**相手への真心を礼儀で伝えていきますか。**

**あいさつ**

「おはようございます」「行ってきます」「こんにちは」「さようなら」

**言葉づかい**

電話の受け答え  
大人の人の話し方

**動作**

相手の話を最後まで聞く  
食事のマナーを守る  
順番を守る  
相手の目を見てあいさつをする

時々、言葉づかいが  
気になります。みんな  
で気をつけよう！

**礼儀は、心と心を通い合わせる「かけはし」です。**

「他人との関わり」は、道徳科の内容A・B・C・DのBの視点！

家庭で取り組む「高知の道徳」P42より

A：自分自身に関すること・B：人との関わり・C：集団や社会との関わり・D：生命や自然、崇高なものとの関わり